



2023年5月30日（火）

各位

反響大きく、実施期間の約半分で目標回収量の約3倍を達成

日本初*1 「おくすりシート リサイクルプログラム」 実証実験の中間結果を発表

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田勝彦、以下「当社」）は、テラサイクルジャパン合同会社（本社：神奈川県横浜市、アジア太平洋統括責任者：エリック・カワバタ）と共に、横浜市のご協力のもと2022年10月20日から実施している「おくすりシート リサイクルプログラム」（以下「本プログラム」）の実証実験につき、開始から約半年が経過したことを踏まえ、中間結果をお知らせします。



おくすりシート リサイクルプログラム OKUSURI SHEET RECYCLE PROGRAM



おくすりシート
回収しています

※ 使用済みの、おくすりシートに限ります。



本プログラムは、使用済みの「おくすりシート（PTPシート*2）」を回収・リサイクルする日本初*1の生活者参加型プログラムとして2022年10月に実証実験を開始しました。

「おくすりシート」は医薬品包装資材として必要不可欠である特性から削減が難しく、今後も高齢化の進展に伴い使用量の増加が見込まれることから、本プログラムでは「おくすりシート」がリサイクル資源であることの生活者認知を高め、資源として循環する仕組みを確立することを目的としています。

本プログラム開始以降、生活者をはじめ関連業界や教育機関等から多くのお問い合わせをいただくなど反響が大きく、取り組みが広く認知されたことから、目標回収量を10万枚としていたところ、実施期間の約半分で目標の約3倍を達成しました。また、回収拠点についても、30拠点を目標としていましたが、40拠点に設置することができました。当該実績を受け、目標を上方修正することとし、新たな目標として回収量を開始当初の5倍にあたる50万枚、回収拠点数を2倍の60拠点に決めました。

	当初の目標	中間結果	上方修正後の目標
おくすりシート回収量	10万枚	28万枚相当（約280kg）	50万枚
回収拠点数	30拠点	40拠点	60拠点

実証実験：2022年10月20日～2023年9月30日、中間結果：2022年10月20日～2023年4月30日

当社は、生活者の健康で豊かな生活に貢献すると同時に、将来世代の健やかな環境を守ることを宣言し、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進しています。本プログラムが先駆けとなり、将来は企業の枠を超えて広く取り組まれる活動へ発展することを目指し、製薬会社として資源循環の促進における使命を果たしてまいります。

*1 生活者参加型のリサイクルプログラムとして。（テラサイクルジャパン合同会社調べ・2022年10月20日時点）

*2 薬を包装する方法の1つで、錠剤やカプセルをプラスチックとアルミニウムで挟んだシート状のもの。

◆第一三共ヘルスケア 業務推進部 サステナビリティ推進マネジャー 古市亜美 コメント



早期に目標の約3倍もの「おくすりシート」を回収することができ、とても驚いています。回収拠点ならびに多くの横浜市民の皆様にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。また、本プロジェクト開始から約半年間、各所よりお問い合わせをいただいております。皆様の関心の高さがうかがえました。

現在、横浜市中区を中心に南区・西区の一部にも回収拠点を設置しておりますが、今後はより多くの皆様にご参加いただけるよう拠点の拡大を検討し、本プロジェクトが持続可能なものとなるよう引き続き尽力してまいります。

◆テラサイクルジャパン アジア太平洋統括責任者 エリック・カワバタ氏 コメント

この「おくすりシート」のリサイクルプログラムは、長年実施したいと考えてきたプログラムで、昨年ついに実現しました。開始直後より日本各地から多くのお問い合わせをいただくなど大変大きな反響がありました。半年経った今、多く方のご協力・ご参加のもと予想を超える回収量があり、嬉しい気持ちでいっぱいです。

また、認知が広まるにつれ、回収量はものすごい勢いで増え続けています。ご参加いただいている皆様にご心より感謝申し上げます。今後も回収拠点の拡大と認知向上に尽力し、「おくすりシート」の循環を目指してまいります。

◆横浜市 資源循環局 政策調整部 3R推進課長 津島邦宏氏 コメント

「おくすりシート リサイクルプログラム」は、市民の皆様にごプラスチック問題、とりわけ、プラスチックごみの分別・リサイクルについて、改めて考えていただくきっかけにつながっていると感じております。

このたびの目標達成までのスピードと、回収量の多さに驚くとともに、市民の皆様のご関心の高さをあらためて感じました。

本実証実験の実施エリアとして、横浜をお選びいただいたこと、並びに市民の皆様のご協力に感謝申し上げます。

横浜市は、これからも市民・事業者の皆様とともにプラスチック対策を着実に進め、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向け力を尽くしてまいります。

<ご参考>

1. 第一三共ヘルスケア株式会社について

第一三共ヘルスケアは、第一三共グループ*3の企業理念にある「多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する」という考えのもと、生活者自ら選択し、購入できるOTC医薬品の事業を展開しています。

現在、OTC医薬品にとどまらず、機能性スキンケア・オーラルケア・食品へと事業領域を拡張し、コーポレートスローガン「Fit for You 健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ」を掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

こうした事業を通じて、自分自身で健康を守り対処する「セルフケア」を推進し、誰もがより健康で美しくあり続けることのできる社会の実現に貢献します。

2. テラサイクルジャパン合同会社について

テラサイクルは、現在の複雑化する廃棄物問題に対し、革新的で持続可能なソリューションを提供するソーシャルエンタープライズで、リサイクル、再生資源、リユースを推進するプラットフォームを構築・運営しています。廃棄物を再考し、実用的なソリューションを開発する国際的リーダーとして世界21カ国で活動しています。テラサイクルジャパンは、テラサイクルの日本法人として2013年に設立され、数多くのリサイクルプログラムを実施中です。テラサイクルの詳細については、下記ウェブサイトをご覧ください。

テラサイクル ウェブサイト <https://www.terracycle.com/ja-JP/>

3. 「おくすりシートリサイクルプログラム」について

(1) 実施概要

実施期間：2022年10月20日（木）～2023年9月30日（土）

回収対象：使用済み「おくすりシート」（購入店舗やメーカーを問いません。）

回収場所：横浜市中区・南区・西区の一部の薬局・ドラッグストア、病院、公共施設等

※詳細は下記公式ホームページよりご確認ください。

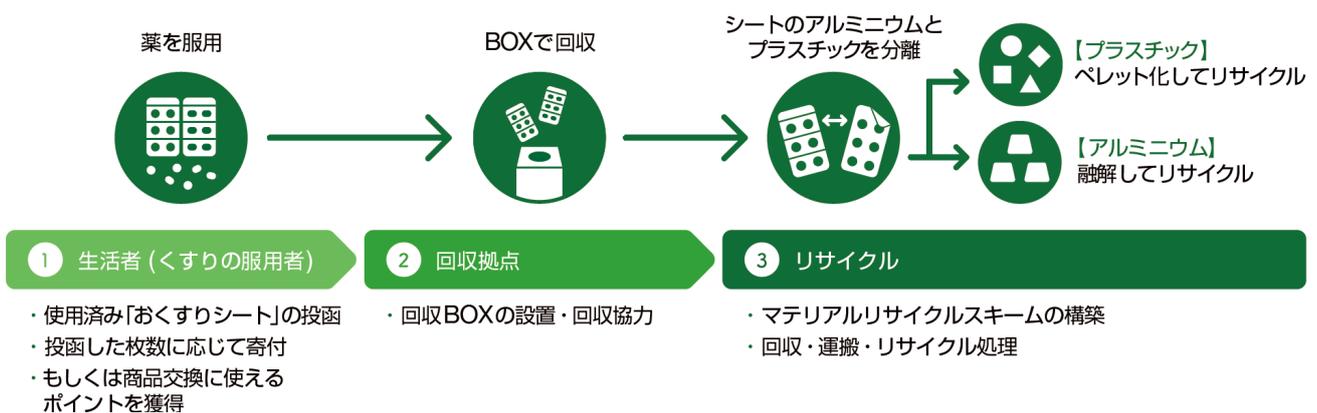
「おくすりシート リサイクルプログラム」公式ホームページ <https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/okusuri-sheet/>



専用回収BOX：
おくすりシートくるりんBOX

(2) 本プログラムの仕組み

回収された「おくすりシート」は、シートのプラスチックとアルミニウムを分離後、各々リサイクル処理され、新たなリサイクル製品として生まれ変わります。



*3 第一三共グループは、イノベティブ医薬品（新薬）・ジェネリック医薬品・ワクチン・OTC医薬品の事業を展開しています。